



～渡良瀬遊水地～ 2024.10.1

自然紹介



夏の暑さがようやく落ち着き、遊水地を吹き抜ける風が肌に心地よい季節となりました。皆様はどんな秋を過ごす予定ですか？遊水地では、渡良瀬の名がつく植物「ワタラセツリフネソウ」が花を咲かせています。ぜひ遊水地内を歩きながら、秋の植物や生き物たちの様子を見つけに出かけましょう♪



ワタラセツリフネソウ

(史跡保全ゾーン)

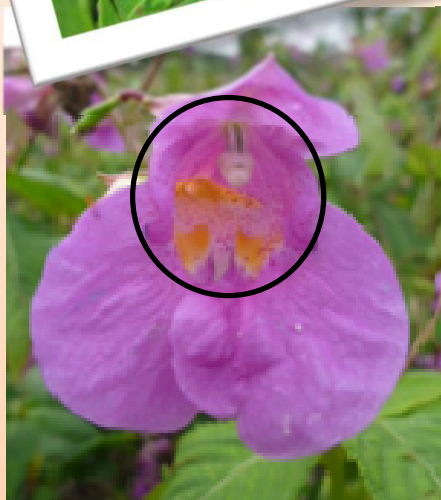


おしりのくるくるしている部分は「距」と言って、蜜が詰まっています。

遊水地で唯一

「ワタラセ」の名がつく植物

2005年に新種として発表されました。遺伝的な違いで、中をのぞくと白いものや黄色いもの、点があるものや無いもの、4つの型があります。いろんな場所を観察して4つの型をコンプリートしてみよう！

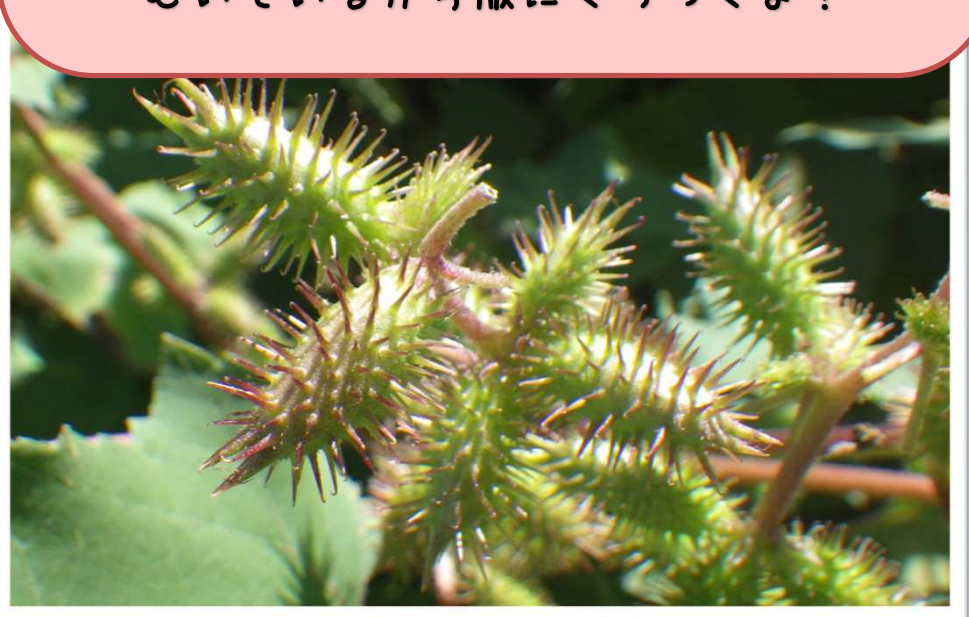


熟すと白くなるよ！



スズメウリ
.....
(役場跡)

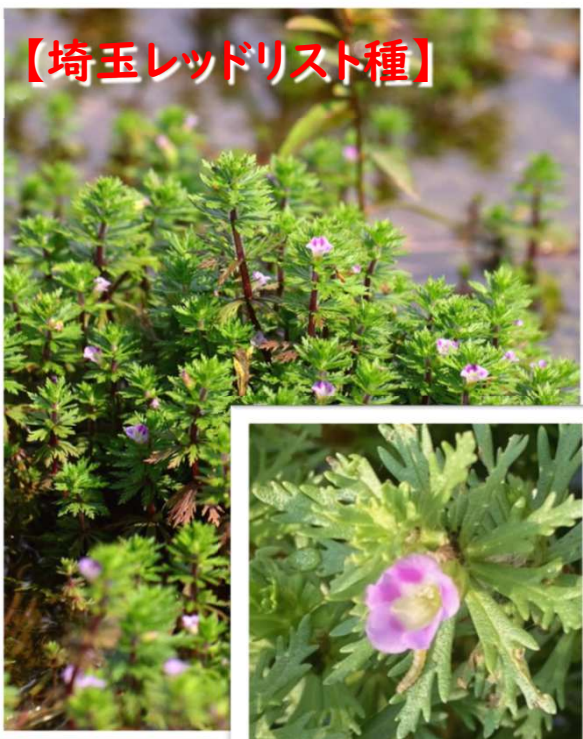
返しのついた刺はみんな同じ方向をむいているから服にくっつくよ！



オオオナモミ
.....
(史跡保全ゾーン)



【埼玉レッドリスト種】



キクモ
.....
(第二調節池・湿地園)



ヒガンバナ
.....
(雷電神社跡)



ミズトラノオ
.....
(湿地園・体験活動センター)

【茨城レッドリスト種】



ニオイタデ
.....
(湿地園)



トラフズク
.....
(中央エントランス)

全体に生える腺毛には独特の良い香りがします♪

眠っている姿がキュート♡